

人口と世帯

人口 401,706人
 男 199,124人
 女 202,582人
 (前月より34人増)
 世帯 163,253世帯
 (前月より72世帯減)
 (16年2月1日現在)

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
 〒194-8520 東京都町田市の中町1-20-23
 市役所の代表電話042・722・3111
 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

東京都総合防災訓練の一環として

町田市で図上訓練が行われました

2月13日、市では東京都総合防災訓練の一環として、都と連携して同時に行う図上訓練を実施しました。

この訓練は、東京都新宿区西新宿直下を震源とするマグニチュード7.2、最大震度6強の強い地震が発生し、大規模な被害が出ているという想定に基づいて、東京都及びその他の防災機関等と相互に連携を図り、災害対応能力の向上を目指すため、また、町田市地域防災計画を検証するために市職員によって行われました。

訓練会場の様子



当日は8時20分に地震が発生したとの想定を受け、市役所本庁舎5階フロアーを会場にして災害対策本部が立ち上げられました。市長以下98人が統制部と演習部に分かれ、ビデオのダミー情報や地震の想定情報が次々に入る中、情報収集とその応急対応活動など、本番さながらの図上訓練を行いました。



各対策部に分かれての訓練

このようなさまざまな場面を想定した訓練をロールプレイング方式(状況付与型図上訓練)といい、きわめて実際に近い

場面を設定し、関係者等がそれぞれの役割を演じることによって役割の特性や業務を学び、現実に対応向かう問題解決能力を身につける方法です。市ではこの訓練の成果を今後の防災計画活動に生かし役立てていきます。

3月1日から7日は 春の 火災予防運動

我がまちを

みんなで守ろう 火の用心

火災は少しでも早く知ることが大切です。東京消防庁では各家庭に対し、火災の早期発見に極めて有効な「住宅用火災警報器」の設置をおすすめしています。購入の際には公的機関により性能が確認されたもの(鑑定マークまたは住宅防火安心マークのついているもの)を目安に選んで下さい。

また、まちだ中央公民館7階ミニギャラリーでは予防週間中

問町田消防署 ☎722・0111
 9、町田市防災課 ☎724・2107



に「防火俳句展」を開催しています。ぜひご覧下さい。なお、予防週間中は各地域において消防署や消防団による火災予防広報が行われますので、ご了承ください。

中町第三庁舎に事務室が移転します

中町第三庁舎(中町1-4-2、中町第二庁舎南側)の建設に伴い、下記のとおり市役所本庁舎から都市緑政部の3課が移転します。

移転先
 都市計画課は中町第三庁舎1階へ
 建築指導課は中町第三庁舎2階へ
 開発指導課は中町第三庁舎3階へ

駐車場の台数が少ないため、公共の交通機関をご利用下さい。

移転先での業務開始日
 3月22日(月)から

なお、4月1日組織改正により「都市緑政部」は「都市計画部」に名称が変更になる予定です。

問 管財課 ☎724・2165

案内図



出火建物から3人を救助した市民に

消防総監感謝状が 贈呈されました

2月15日朝、市内で発生した住宅火災現場の近隣に住む大谷清さん、佐藤公平さんは、火災発生直後に現場に駆けつけ、黒煙を上げている建物の1階の屋根の上で、女性が子ども2人を抱えて助けを求めているのを発見し、脚立を使って隣接する住宅へ誘導するなどして3人を救出しました。

この救助活動に対し、東京消防庁は消防総監感謝状を贈呈しました。大谷さん、佐藤さんの二人は「市民として当然のことをしたまですすが、無我夢中でやりました。消防隊が早く現場にきてくれたので、そのときは安心しました」と話していました。

危機一髪でお手柄！



佐藤さん(左)と大谷さん(右)